



イタチの足跡

里山通信

『蒲沢(かばさわ)』

第33号

平成20年2月4日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎



2/3(日)大沢市民センターと共催で、恒例の「冬の里山歩き&冬芽観察会」を実施しました。

大雪になるかと心配した天気もなんとかもって、途中、ガイドをお願いした仙台森林管理署の佐藤さんから含蓄に富んだお話をお聞きしながら東屋^{あずまや}を目指しました。送電線が走っている鉄塔の周りは、すっかり樹木が伐採されて、小高い丘陵に登るとこのあたり一帯のパノラマのような景色を眺めることができました。また、山の中はところどころにかなり雪が残っている場所があって、

この日のお目当てのひとつであるカモシカ、タヌキ、ウサギなどの動物の足跡を確認することができました。出発して2時間ほどで東屋に到着、お昼になりましたが、世話人の方が用意した甘酒が参加者全員にふるまわれ、好評でした。帰りは尾根伝いの間道を森の精気をたっぷり浴びながら縫う様にして戻ってまいりました。

この日の参加者は、43名。小学1年生のお子さんから82歳の方までバライティに富んだ顔ぶれでいつにも増して楽しい冬山歩きが出来たと思います。

